



古高だより

令和5年度 第2号 令和5年7月25日発行

宮城県古川高等学校

<https://furuko.myswan.ed.jp/>

<2学年>被災地研修を終えて

令和5年5月24日(水)実施

2011年3月11日、2006年生まれの私は4歳だった。「マグニチュード」、「原発事故」、「プレート」といった言葉の意味を正確に理解出来る年齢には至っていなかった。私が住む大崎市古川では最大震度6強を観測した。今回、被災地研修を計画する際に宮城県内の被害状況と復興の情報を収集すると、栗原市で最大震度7が観測されたこと、指定避難所であった「閑上公民館」の悲劇、そして「閑上保育所」の奇跡など、私が知らない情報で溢れていた。無知であることに気付かされたのだ。実際に名取市に足を運び多くを学んだが、特に印象に残っているのは名取市震災復興伝承館で体験した「水圧体感ドア」である。水深30cmのドアを開ける体験で、膝くらいの水深ならば何の問題もないと思っていたが、実際には簡単に開かず、全身の体重をかけてようやく開けることができた。「水深30cm→水圧36kg」と記載されており、避難時の困難をシュミレーションすると一気に恐怖に包まれた。幼い私に安心感を与えてくれた家族のように、今度は私が誰かを救う・安心させる側に回りたい。(2年5組 被災地研修実行委員長 佐藤茉夏 古川中学校出身)



<1学年>ブナの森遠足

令和5年5月26日(金)実施

船形登山実行委員長を務めました1年5組の後藤亜由美です。本年度の船形山登山「ブナの森遠足」は天候にも恵まれました。事前に先生方に伺ってはいましたが、想像していたものよりもとても過酷なものでした。登り始めは軽い坂道で友達と話しながら登る余裕がありました。しかし、登るにつれ道が険しくなり、話す余裕が無くなってきたり、体力的にきつい人も出てきたりして私自身も登るのがとても大変でした。それでもみんなで声を掛け合い励ましたりしながら登りました。やっとの思いで着いた三光の宮にはクラスごとに登りました。少し曇って遠くまで一望とはいきませんでしたが、船形山の綺麗な景色を見ることができ、みんなで喜びを分かち合うことができました。ブナの森遠足を通してみんなとの仲をより深められ、お互いに支え合うことの大切さを知ることができたことで、とても良い行事となりました。



(1年5組 船形登山実行委員長 後藤亜由美 小牛田中学校出身)

祝! インターハイ出場!

~各部活動の活躍~



山岳部 東北大会での学び

僕たち山岳部は、6月の県総体で1位となり、東北大会とインターハイに出場することになりました。そして迎えた東北大会では5位入賞を果たしました。入賞したものの今回の東北大会では選手4人各々が課題を見つけることができたのでインターハイまでに克服できるように普段の活動を工夫したいと思います。普段の活動は主に体力トレーニング、テント設営の練習、計画書作成、大会の知識テストの勉強、登山など、多岐にわたる練習を行っています。東北大会での反省を生かして練習メニューを工夫し、目標であるインターハイ優勝を達成するためにこれからも頑張っていきたいです。これからも応援をよろしくお願いします。

(3年5組 山岳部部长 金子翔吾 鹿島台中学校出身)

(写真上段) 佐々木冬馬(古川南中出身), 菊池研信(古川南中出身)

(同 下段) 金子翔吾(鹿島台中出身), 水口昇太郎(涌谷中出身)

演劇部 古川地区高校演劇祭を終えて 第51回古川地区高校演劇祭

6月3日(土)、「パレットおおさき」にて伝統ある「第51回古川地区高校演劇祭」が開催され大成功をおさめることができました。今回上演したのは古川黎明高校演劇部、古川高校演劇部で、それぞれの学校の部員が書き下ろした脚本を上演しました。古川地区3校の演劇部員がこの公演に向けて本格的に動き始めたのは今年の12月でした。古川工業高校さんは学校行事の都合上、上演での参加が難しいという理由で今回は2校のみの上演になりましたが、ポスターやパンフレットの作成、印刷を引き受けていただき公演が終了するまで私達を支えてくれました。この公演は私達3年生にとっての引退公演でした。これまでご指導くださった先輩方や保護者の皆様など、多くの方々の応援をいただき悔いのない演技を披露することができました。皆さん、ありがとうございました！（3年3組 演劇部部長 小嶋美輝 古川中学校出身）



吹奏楽部 第55回定期演奏会を振り返って 第55回定期演奏会



私達は5月28日(日)に第55回定期演奏会を行いました。コロナによる制限が緩和され今回から客席制限なしでの開催となりました。このような形で行われたのは4年ぶりであり客席が埋まるかどうか心配ではありましたが、当日は三浦先生も驚くほど沢山の方にご来場していただきとても嬉しく思います。また、今回の演奏会からマーチングを用いたステージショーを取り入れました。部員のほとんどがゼロからのスタートでありましたが、部員全員で教え合い、時には曲の振り付けを自分達で考えるなど、普段の活動では得ることのできない貴重な経験

をすることができました。また、本番でショーを披露し終わった後のお客様からの温かく盛大な拍手は、何事にも代え難い感動があったことを今でも覚えています。最後に、今回の定期演奏会に足を運んでくださった皆様に感謝を申し上げます。ぜひ、来年もご来場お待ちしております！（3年3組 吹奏楽部部長 佐々木美波 田尻中学校出身）

～東北大会出場～

ソフトボール部 先輩から後輩へ

東北高校ソフトボール選手権大会が6月17日、18日に福島県福島市で開催され、宮城県第2代表として参加してきました。古高ソフト部は、4月から急激に成長し、絶対に東北大会に行くと意気込んでいました。県総体で

は、今まで勝つことができなかった登米総合産業高校に勝利し、東北大会への切符をみんなで掴み取りました。東北大会では、郡山北工業高校と対戦し、守備で良い雰囲気を作ることができた場面もありましたが、0-8で負けてしまいました。その時に、私達3年生は引退が決まってしまいましたが、私達の後を引き継ぐ後輩達にとっても期待をしています。3年生が抜けてからの古高ソフト部も、良い方向に向かっていくと練習を眺めていても感じられます。私がソフトボールをできたのは、仲間、家族、先生方のおかげです。本当にありがとうございました。（3年1組 ソフトボール部部長 芦田蒼依 米山中学校出身）



陸上競技部 軌跡

東北大会に至るまでたくさんの困難を乗り越えてきました。この一年間、私個人は怪我で記録が伸び悩む苦しい一年間でした。何度も心が折れそうになりましたが、リレーメンバーをはじめとする部活動の仲間の支えがあり、乗り越えてくることができました。陸上部一丸となり、切磋琢磨に努めた集大成として東北大会に出場できたことを嬉しく思います。結果は全国大会出場には遠く、チームベストすら出すことができず悔いの残るものでした。後輩達には是非、全国大会に出場して、納得いく形で引退を迎えてほしいです。この三年間は陸上を通して人間的に大きく成長したと思います。支えて下さった先生方、家族、仲間感謝しています。ありがとうございました。（3年5組 陸上競技部部長 高橋侑我 桃生中学校出身）



（3年5組 陸上競技部部長 高橋侑我 桃生中学校出身）

<東北大会出場者(個人等)> 剣道部:岩淵俊哉(若柳中出身)。陸上競技部:高橋侑我(男子400mリレー・桃生中出身)・佐藤謙臣(同・古川南中出身)・野地竜輔(同・古川南中出身)・西塚新平(同・小野田中出身)・尾形瑠音(同・古川東中出身)・佐々木蓮(同・涌谷中出身)、大道寺若菜(ハンマー投・色麻中出身)、白井奏羽(走高跳・古川南中出身)、伊藤玲奈(七種競技・築館中出身)。

